



日精看 青森県支部ニュース

発行 (社)日本精神科看護技術協会 青森県支部
編集 (社)日本精神科看護技術協会 青森県支部 広報委員会
2011年9月7日

第1号 Vol.15

平成23年度 青森県支部大会 開催される

平成23年6月4日、青森県総郷社会教育センターにて、来賓に当協会の龍野常任理事を迎えて、上記大会が開催されました。

まず、太田会長より、3月11日の大震災で、亡くなられた方々のご冥福と、被災された多くの皆様へのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りしておりますとご挨拶がありました。また、今年度予定されておりました、東北学会福島学会は、震災ならびに原発問題で中止になったことが報告されました。

大会では、平成22年度事業報告・決算報告が事務局より報告され、満場一致で承認されました。その後、23年度事業計画・予算、協会規約変更に伴う新支部規約が提案され、満場一致で可決されました。続いて、支部役員の変更も満場一致で可決されました。

新役員体制は以下の通りです。

- 新支部長 沼館 友子
(青森県立つくしが丘病院)
- 副支部長 藤本 健
(青い森病院)
- 新副支部長 野呂 利樹
(布施病院)
- 事務局長 盛 由美子
(弘前愛成会病院)
- 新会計部長 元木 八重子
(弘前愛成会病院)

今回の改選では、数年ぶりに県立つくしが丘病院の看護部長の沼館 友子さんをお新支部長に迎え、副支部長に布施病院の野呂 利樹さんを迎えての新体制となりました。これから、宜しく願い致します。

前役員の方々の皆様、ありがとうございました。
支部長 太田 クニ
(浅虫温泉病院)
副支部長 吉田 昌子
(三沢聖心会病院)
会計部長 山中 尚子
(弘前愛成会病院)

また、当日の午前中は、第1回研修会として、「慈愛のある生活」と題して、国際協力機構青年海外協力隊員の小形 将樹先生の文化講演が開催されました。

とても貴重なお話ありがとうございました。
(芙蓉会病院 杉田 正)

第2回支部研修会 開催される

平成23年6月25日(土)青森総合社会教育センターにて、上記研修会が開催されました。本研修会は、青森県精神科病院・診療所協会と共催の研修会であり、精神科新人看護職員および介護職員の方々を対象とした研修会です。今回は、47名の看護職の方々が参加してくださいました。

午前は、青森県立つくしが丘病院総括主幹 坂本 奈緒先生による、「精神疾患の理解」と題して、精神障害者の捉え方、対応の仕方から事例をまじえて、とても分かりやすくお話してくださいました。



午後は、青森大学社会学部社会福祉学科 教授 藤林 正雄先生による、「精神科医療の歴史と精神保健福祉法～患者の人権～」と題して、精神障害者の歴史から先生の体験談、精神保健福祉法、人権についてと精神医療の中ではとても重要な話をさせていただきました。昼食後という事もあり、参加者は睡魔と闘いながら懸命に講義を聴いていました。

平成23年度精神保健



続いて、以前当協会の青森県支部長も務めておられた、青森明の星短期大学 現代介護福祉学科 教授 葛西 淑子先生による、「精神科医療を担うあなたへのメッセージ」と題して、東日本大震災での日本人の行動が諸外国から賞賛されたこと。思いやりの大切さ、素晴らしさをお話くださり、精神科医療者に大事なものを伝えてくださいました。

平成23年度精神保健福祉研



(芙蓉会病院 杉田 正)

第3回支部研修会 開催される

平成23年7月2日、青森県総合社会教育センターにおいて第29回看護研究論文発表会が開催されました。今年度は6題が発表されました。演題内容は普段のかかわりの中での葛藤や、身体合併症に視点をのいた内容でした。今回の研究論文6題すべてが、平成24年度全国学会（兵庫大会）に推薦となりました。



演題発表終了後、弘前医療福祉大学看護学科准教授の板山 稔先生から『看護研究』について講義していただきました。クリティークを通して看護研究論文の書き方と注意点について学習しました。普段自分たちが論文を作るうえで陥りやすい間違いなどについて、講義を通して再認識することができました。

医療の質が問われ、また高齢化が急速に進む中、精神疾患を抱えた患者の身体合併症についても必要な観察・援助技術が重要となってきています。身体管理への看護援助を通じた看護研究も、量的研究として論文化されたものが青森県からもでてくるかもしれず、期待したいところです。



平成24年度全国学会（兵庫大会）推薦

○ 社会生活を想定した病棟環境を目指して

～半構成的面接から見えた退院後のイメージと行動の伸長～

社団法人青森精神医学研究所附属
浅虫温泉病院
工藤紗矢香

○ 対人関係回復へ向けての看護

財団法人愛成会 弘前愛成会病院
竹内 啓子

○ 視覚的構造化による生活のパターン化を目指して

一援助拒否、暴力性の目立つ自閉症患者との関わりを通して～

医療法人芙蓉会 芙蓉会病院
佐々木 陽

○ 精神科は身体ケアの時代へ

一褥瘡の治癒と離床を目指した関わり～

財団法人愛成会 弘前愛成会病院
吉田 光

○ 精神科の健康教育における口腔ケア推進の有効性

～患者と看護師の意識変化を目指して～

津軽保健生活協同組合
藤代健生病院
奈良岡静夫

○ 精神疾患患者に対する乳がん自己検診指導の試み

社団法人青森精神医学研究所附属
浅虫温泉病院
山崎公子

（八戸赤十字病院 工藤 拓実）

「こころの日」 開催される

平成23年7月9日（土）にイトーヨーカドー青森店で「こころの日」のイベントが行われました。

内容は血圧測定・体脂肪測定・骨密度測定・臨床心理士によるストレスチェックです。



例年日曜日に開催していましたが、今年は土曜日の開催であったことや震災の影響もあってか、当初、人足はまばらでした。それでも午後に入ってからは大勢の参加がみられ、来場者数はトータル 150人程度を数えました。

各ブースでは、健康チェックを受けられた方々がスタッフからアドバイスをもらい安心している姿が見受けられました。



最近検診を受けていても気になるから寄ったという声が多かったです。その他は「なんとなく寄ってみた。値はどのくらいかなと思って。」「骨密度って500円位かかるのに無料でやってくれるからいいねー。」など感想をいただきました。



これを期に、健康に興味を持っていただけたら幸いです。

（藤代健生病院 諏訪 寿久）

広報委員会より

各施設でPRしたいこと
や投稿希望がありましたら
事務局までご連絡くだ
さい。

mo-ri-mama40
@smile.odn.ne.jp